

プロジェクト⑨

夏場における花きの安定生産供給技術及び日持ち性延長技術の開発・普及

平成26年11月13日

リーダー府省 農林水産省

花でおもてなし ～世界最高水準の日本の花で大会を彩る～

- 世界最高水準とされる日本の花で街や会場を彩り、日本らしさを演出し、大会を印象的なものに
(オリンピック史上最もエコな大会の実現を目指したロンドンでは、緑があふれ、花が咲き誇る会場作りで、イメージUPに大成功)
- 会場や選手村の花の装飾には、選手のストレス軽減・疲労回復の効果も期待

農林水産省の提案

おもてなしの花

- ・ 空港・駅：到着口、発着カウンター、改札口、ホーム、待合室を花と緑で装飾
- ・ 市街地：花育活動と連携して聖火のリレールートや公共施設、学校での花壇作り
- ・ 会場：マラソンの沿道、表彰台、選手村の食堂等を花で演出

ビクトリーブーケの開発

- ・ 日本での大会を印象付けるアイテムとして、国産花きの素晴らしさを全世界にアピールするビクトリーブーケを企画・開発
(品種・産地の選定※、デザイン等)

※復興の発信ストーリーとして、被災地で栽培された花きの使用も一案



選手をおもてなしの花でお出迎え



選手には、ビクトリーブーケ！
表彰台の下には花を！



日本らしさを演出したビクトリーブーケ 花と緑が満ちあふれる会場作り



農林水産省がバックアップ

真夏でも安定した供給体制の構築

- ・ 大会で使用される緑化・装飾用の花きが安定して供給できるよう、計画的に生産・出荷できる産地の育成、コールドチェーンの整備、切り花の日持ち性向上技術を確立

(1964年は10月開催、2020年は7～9月の真夏の開催)



マラソンの沿道も花で応援



選手村の食堂で花を飾って癒やしを